

令和5年7月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和5年7月31日（月）午後0時30分～7時00分

2 場 所 市役所6階 604会議室

3 出席者 [教育長] 中島秀行

[委 員] 吉本理(教育長職務代理者)、寺本彰、清水国明、宮本陽子、森田理恵

[事務局] 千葉裕之教育総務部長、◎中田利明学校教育部長、池田淳教育総務部次長、◎櫻井誠学校教育部次長、糟谷苗美社会教育担当参事兼社会教育課長、◎吉川誠学校教育担当参事兼学校教育課長、◎中村啓教育センター担当参事兼教育センター所長、◎鈴木健教育総務課長、北村史恵教育総務課主幹兼教育企画室長、遠山秀仁教育施設課長、三上佳明スポーツ振興課長、稲田里織文化財保護課長、川島一禎文化財保護課主幹、橋本浩志所沢図書館長、鈴木恵学校教育課主幹兼健やか輝き支援室長、△刈谷和哉学校教育課主幹、渡辺純也保健給食課長、△北嶋一済学校教育課指導主事、△長谷川義博学校教育課指導主事

[書 記] ◎小城原光貴教育総務課副主幹、◎佐藤彰尚教育総務課主査  
※◎印の職員は、全ての審議に出席。

△印の職員は、議案第12号の審議より出席。

無印の職員は、議案第12号の審議の際は退室。

[その他] 内山直樹林小学校長、五十嵐和彦宮前小学校長、関根祐一北小学校長、生野元三ヶ島小学校長、諸範弘山口中学校長、日下宏之北中小学校長、戸村達男所沢小学校長

※所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会委員として、議案第12号の議案説明のため出席。

小山義昭上山口中学校長、吉川英一向陽中学校長、原雅一牛沼小学校長、徳増由美子小手指小学校長、本澤智巳柳瀬小学校長、藤田恵子東所沢小学校長、大舘直美伸栄小学校長、長

嶋照代清進小学校教頭、鈴木克彦明峰小学校長、大平由希子  
安松小学校教頭、米澤三八子美原小学校長、平川泰樹荒幡小  
小学校長

※所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会教科用図書  
調査専門員として、議案第12号途中より出席。

#### 4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 24名

6 開 会 本日の議案は、議案第12号の1件。また、協議事項が1  
件。なお、「市内小中学校での事案について」は個人に関する  
情報が含まれ、学校及び個人が特定されるおそれがあるた  
め、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7  
項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員  
が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

※議事の進行上、非公開の報告は、公開の報告事項の後に行  
った。

#### 7 協議

●令和5年度所沢市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書について  
資料に則り、北村教育総務課主幹から以下のとおり説明があった。

協議事項とした「令和5年度所沢市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告  
書について」を説明する。基本的な構成については、昨年度と同様である。

はじめに、1ページ、点検評価報告書については、「地方教育行政の組織及び運  
営に関する法律」の第26条に基づき、教育行政の推進を図るとともに、事業の透  
明性の確保や市民への説明責任を果たすために、平成20年度から毎年行っている  
ものである。

この法律第26条の第1項では「教育委員会は、毎年、事務の執行状況等につい  
て点検と評価を行い、その結果の報告書を作成し、議会に提出し、公表しなければ  
ならない」と規定されている。

また、第2項では、この点検評価を行う上で、教育に関し学識経験を有する者の

知見の活用を図るものとする」と規定されていることから、3名の評価委員を選出し、2ページに記載のとおり、秋草学園短期大学准教授、伊澤永修様、元所沢市立中学校長、内野正行様、所沢市社会教育委員、小沢貞泰様にお越し、ご意見と評価をいただき、本報告書を作成している。

続いて、3ページから5ページまでにおいて、「第2次所沢市教育振興基本計画」に掲げた46個の主要施策の体系図を掲載している。

6ページには、令和4年度に所沢市教育行政推進施策において掲げた3つの最重要施策を記載しており、7ページから12ページには、教育委員会で作成した点検評価に対し、学識経験者3名からいただいたご意見と評価を記載している。13ページから69ページまでは、主要施策ごとに「目標」と「内容と今後の方向」を記載し、また、各施策の主な事業の「実施状況」と担当課で行った「自己評価」を記載している。

70ページから75ページまでは、基本目標ごとの指標の達成状況の推移を76ページから79ページまでは資料として、教育委員会の活動状況、令和4年度の予算・決算を記載している。

最後に、80ページはむすびとして、令和4年度の点検評価の結果をまとめている。説明は以上である。

お気付きの点があれば、ご教示いただきたい。今後の流れだが、本日の協議結果等を反映したものを8月の定例教育委員会において審議をお願いし、議決いただいた後、市議会に提出し、ホームページで市民に公表する。なお、個々の事業の内容については、各所管からお答えする。

以下、質疑

(寺本委員)

10ページの学識経験者のご意見として「目を向けるべきはイベントに参加しようとする意欲を持たない子どもたちの体力向上である」とかなりストレートな記載がありますが、意欲を持たないのは子どもではなく、保護者が意欲を持っていないならばイベントにも参加できないと考えます。保護者に関する記載をどこかに入れて欲しいのですが、例えば34ページの「施策の内容と今後の方向」の項目に、スポーツイベントに対して保護者への呼びかけ、ただ文書を配布するだけでなく、それぞれの子どもにあった保護者への働きかけについて記載できませんか。

(三上スポーツ振興課長)

ご指摘のとおり、子どもだけでなく保護者への動機づけも必要かと思われまので追記いたします。

(宮本委員)

16ページのふるさと研究活動事業について、学校への資料の貸し出しをし、実際の資料を見ながら学習するというような活動はありますか。

(稲田文化財保護課長)

学校には、年度当初に文化財保護課が行う郷土学習事業の案内をしており、依頼があった学校に土器や郷土資料のなどの貸出を行っています。また、所管する埋蔵文化財調査センターや各民俗資料館の団体見学も実施しています。なお、該当ページのふるさと研究活動事業については、51ページ掲載分の再掲になっており、学校での学習に特化した記載にはなっていません。ふるさと研究活動事業以外にも文化財保護課全体の取組として学校への資料貸出を行っておりますが、最も関連があるものとしてふるさと研究事業を掲載しています。

(宮本委員)

17ページ「情報教育の推進」の「ICT支援員導入事業」の評価に記載されている「ICT機器を使って、子どもたちの新たな学びを実現するスキルを身に付けていると評価できる教員の割合を27%から35%に引き上げることができました。令和5年度はこの割合を60%まで引き上げることを目標」とあり、35%から60%というと引き上げの割合が大きいと感じますが、どのような状況だったのですか。

(中村教育センター担当参事)

前年度までコロナ禍でありながら、学校の教師もオンライン授業やICT機器の活用が徐々に出来てきた状況であり、その結果が35%でした。今後、さらに割合を高めていく必要があると考えますが、人事異動があってもある程度対応できる割合ということで60%と設定しています。

(寺本委員)

21ページの「道徳教育の推進」についての全体的な記載ですが、過去にあった不幸な事件の反省がどこにも表れていないように思います。所沢市独自の過去の反省を踏まえた記載として、具体的には自己肯定感や存在感など、目立たない子ども

たちにもいいところがある、ということを感じられる道徳教育を目指すという記載をどこかに加えてみたらどうですか。

(中村教育センター担当参事)

心のエネルギープロジェクトにおいても、自己肯定感の醸成ということを推進してきた重要な部分になりますので、ご指摘のとおり記載を加えるよう検討します。

(清水委員)

I C Tを推進していく一辺倒ではなく、C h a t G P Tを制御しながら活用したり、今後新たなものをどのように使っていくかなど、対応する準備や方向性を考えていく必要があると思いますが、その点についてどのように考えていますか。

(吉川学校教育担当参事)

ご指摘の問題は、今後注視していかなければならないと認識していますので、基本計画への記載を含めて検討していきたいと考えています。

(森田委員)

36ページの「IT相談事業」について、評価欄に「令和3年度より開設回数が32回増え、受講者が85人増加しました。」と記載がありますが、相談だけではなく講習会としても行われているのでしょうか。また、それは市の職員が行っているのですか。

(糟谷社会教育担当参事)

相談事業の内容としては、個別に相談を受けながら実際の操作方法を指導するもので、パソコン操作が可能な知識のあるボランティアの方が行っています。

(寺本委員)

56ページの「教師力・組織力の向上」について、教師の負担軽減とありますが、教師の負担軽減が必要なのは文書の電子化などではなく、保護者対応なのではないかと思います。何か突発的なことが起きた際に、従来の業務に支障が出ないようにする支援体制などを「今後の方向」の項目として記載できませんか。

(櫻井学校教育部次長)

現在、保護者対応が複雑化しているということもあり、一人の教員が問題を抱え込まないよう、学校にも組織対応するよう示しています。それが直接、負担軽減にはつながらないかもしれませんが、教員一人一人の負担感、多忙感を緩和する効果があると考えています。また、ご指摘の内容の記載については、検討します。

(寺本委員)

組織対応という点では、学校だけでなく教育委員会として組織的な対応を行っていますので、積極的に肯定的な評価内容を記載しても良いのではないですか。

(櫻井学校教育部長)

ご指摘のとおり、表記を改めるよう検討します。

(吉本委員)

60ページの「学校・家庭・地域の連携推進」について、学校開放に関する記載があっても良いと考えますが、いかがですか。

(三上スポーツ振興課長)

所管が学校教育となりますが、調整を図りながら記載を検討します。

(寺本委員)

68ページの「就学にかかる経済的支援」の就学援助事業について、援助内容として卒業アルバムを追加することを検討できませんか。また、69ページの「多様なニーズに対応した教育機会の提供」の日本語サポーターの対応言語としてネパール語の需要が高まっているとのことですが、ベトナム語も比較的需要が高いと考えます。その点について、同様にサポートを検討できませんか。

(鈴木教育総務課長)

現在、卒業アルバムは就学援助の対象として含まれていませんが、今後、対象とすることについて研究します。

(中村教育センター担当参事)

現在、ネイティブのベトナム語のサポーターはいませんが、日本語を復唱させる直接法で会話のサポートをすることで対応は可能です。また、今後、需要に応じてベトナム語等のサポーターを随時募集することを検討します。

(中島教育長)

ただいまの協議事項について、各委員の意見等を踏まえた対応をお願いします。

## 8 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

○所沢市教育委員会の7月から10月までの主な行事予定について（教育総務課）

○「所沢市議会一般質問要旨 令和5年第2回（6月）定例会」について

（教育総務課）

○令和5年度所沢図書館講演会「南極・北極から地球の未来を考えてみよう！」

（所沢図書館）

《質疑なし》

《休憩 午後1時15分～午後1時30分》

## 9 議題

### ●協議第12号 令和6年度使用小・中学校用教科用図書の採択について

資料に則り、吉川学校教育担当参事から以下のとおり説明があった。

教科用図書の採択については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条に基づき、本市教育委員会で行うことになっていることから、教科用図書の採択をお願いするものである。

令和6年度使用小学校用教科用図書の採択については、所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会設置規則に基づき任命された、7名の校長と学校教育部長からなる選定委員会において、本市の児童が使用するにふさわしいと考える教科用図書について教育委員会へ推薦する教科書として選定した。

本日は、選定委員会委員が本会議へ参加しており、各選定委員から全ての発行者の教科用図書に関する説明と教育委員会会議に推薦する教科用図書について種目ごとに報告をする。質疑と協議をいただく中から、来年度から4年間使用する小学校用教科用図書の採択をお願いするものである。

また、調査研究専門員代表者も本採択に向けた質疑及び協議に協力するため、参加する。

なお、信州教育出版社発行の「楽しい理科」及び「せいかつ」については、見本の送付がなかったため、専門員による調査研究は行っていないので、ご承知おきいただきたい。

今年度採択する教科用図書は、「国語」「書写」「社会」「地図」「算数」「理科」「生活」「音楽」「図画工作」「家庭」「保健」「外国語」「特別の教科 道

徳」の13種目である。本日は、小学校用教科用図書を種目別に審議していただき、最後に、中学校用教科用図書とあわせて採択をお願いしたい。

(中島教育長)

始めに選定委員長より、令和6年度使用の小学校用教科用図書の選定結果の概要について、説明をお願いします。

選定委員会委員長の関根北小学校長から、以下のとおり説明があった。

各種目の報告に先立ち、これまでの経緯を説明する。選定委員会は、所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会設置規則第2条により、教科用図書について、協議・検討を行い、所沢市教育委員会に報告をするものとなっている。

まず、専門員による調査研究の報告書については、市内の校長、教頭及び教諭で種目ごとに構成された調査研究専門員会を4月より4回にわたって開き、作成した「教科書の調査研究報告」と県の調査資料を種目ごとにまとめたものである。

次に、教科書展示会の期間に合わせ、市内全小学校32校に依頼した学校研究の集計結果である。そして、教科書展示会参加者からのアンケート、最後に保護者の代表であるPTA会長等に教科書展示会にお越しいただき、回答のあったアンケート結果を掲載している。これらをもとに、また、埼玉県調査結果報告等も参考にしながら、選定委員会において2回にわたり協議し、「所沢市の子どもたちにとってふさわしい教科書」として教育委員会に推薦する教科書の選定を行った。

《国語》

以下、選定委員会委員の内山林小学校長より国語について報告があった。

現在使用されている教科書は、「光村図書出版」である。はじめに、国語科の教科書について、一覧の順に説明する。

まず、「東京書籍」は、各単元の冒頭で既習内容を確認し、学習の中でどのような言葉の力を身に付けるかの見通しが持てる工夫があり、主体的に学べるようになっている。言葉の特徴、情報の扱い方、言語文化に関する事項についての教材数が多く、言葉への関心をもつことができる。二次元コードを活用できる単元が3者の中で最も多くあり、教科書以外の豊富な資料を活用することができる。

次に「教育出版」は、各単元に、言語活動を行う上で要となる内容を「ここが大



事」で示している。各領域に、「深めよう」「広げよう」「伝え合おう」という段階を設け、対話的な学びを促したり、イラストを用いて言語活動の場面をわかるように示したりしている。単元ごとの「単元のとびら」では目標と振り返りを連動させて身に付けさせたい力を意識させるように工夫されている。物語文、説明文の後では、構造と内容把握、精査解釈、考えの形成、共有の4つのステップで学習を進めていけるようになっているため、学習の見通しがもてるようになっている。二次元コードには作者の紹介等を見ることができる。

最後に「光村図書出版」は、単元数及び各領域の教材数が多いことが特徴である。巻頭に「国語の学びを見わたそう」のページがあり、国語の学び方や前の学年で学んだことが系統立ててある。各単元の最初のページにも「これまでの学習」を明記して学習の系統性を示し、「たいせつ」で身に付ける学習内容を明確にしている。教科書のレイアウトが上下に分かれており、活動と学習のポイントに分かれていて学習が進めやすい工夫になっている。二次元コードには、単元と関連した資料や動画、音声などがあり、児童の学習の助けとなる資料を見ることができる。

続いて、推薦する教科書とその選定理由を説明する。国語について、最も適しているものとして「光村図書出版」の「国語」、次に適しているものとして、「教育出版」の「ひろがる言葉 小学国語」を推薦する。

「光村図書出版」を選定した1点目の理由は、知識・技能の習得を図るために、単元の最初に「これまでの学習」を明記して学習の系統性を示したり、単元末の「たいせつ」で単元で身に付ける学習内容を明確にしたりしていることが挙げられ、学びの必要感を高める「めあて」を明確に提示している。

2点目の理由は、学習場面をイラストを用いて児童のつぶやき例をわかりやすい言葉で示し、交流のきっかけを作ったり、2年生からの「対話の練習」や3年生からの「コミュニケーションコラム」の項目で、伝え合う力の育成を図ったりしていることである。学び合いが多くあり、他者を意識しながら取り組む工夫がある。

3点目の理由は、単元の手引きにより学習過程を示し、学習過程と課題を照らし合わせることで、児童が見通しをもって取り組み、単元の終わりの「ふりかえろう」で、達成感を味わえるようにしていることが挙げられる。国語学習に対して学びに向かう力を涵養する工夫がある。

「光村図書出版」は、学校研究の結果でも、学校からの支持も多く、学習過程が

明確にされ、めあてのふりかえりが児童にわかりやすい工夫をしていることによって、所沢市が目指している授業の基本形に活用しやすくなっている点から第一番目の推薦とした。

次に適しているものは「教育出版」である。先に説明した「光村図書出版」に比べると、推薦の度合いは高くはないが、「教育出版」を選定した1点目の理由は、各単元で特に何について学ぶのかという領域ごとのポイントを「ここが大事」の欄で示し、言語活動を行う上で要となる知識、技能を学習や日常生活の中で活用できるように工夫している点である。

2点目の理由は、各領域で対話的な学びを促したり、イラストを用いて言語活動の場面をわかりやすく示している。それぞれの学年で多様な言語活動を扱っており、他者との対話の中で学びを深められる工夫があることが挙げられる。

3点目の理由は、単元ごとに4～5段階の学びの手引きを提示し、学習過程を明確にすることで見通しを持ち、学ぶ意欲を高めて取り組めるように工夫されていることや、巻末の付録ページや「言葉」の項目を設けることにより、学習する語句のまとまりを踏まえて語彙を豊かにできるようにされていることが挙げられる。

以下質疑

(清水委員)

2者の中で対話的な学びを促す工夫がされているものはどちらですか。

(内山林小学校長)

2者とも話すこと聞くことにおいて、多彩な言語活動による目的や条件などに合った活動が身に付けられる工夫はされています。2者の中では、「光村図書出版」の方が教材数も多く、学ぶ単元での質問などのやり取りや、書いたものの読み合いをする、他者と共同するという点でも優れています。

(宮本委員)

自分自身で考える力を養うものとして、子どもたちが主体的に取り組める教科書はどちらですか。

(内山林小学校長)

どちらの教科書も主体的に取り組めるような工夫はあります。見通しという部分では、「光村図書出版」では「問いを持とう」というコーナーがそれぞれの単元にあり、自分の考えを明確にした上で学習に入っていける工夫があること、また、「一

年間の学習を見通そう」というものが最初に設けられ、学ばなければならないことの見通しを持ちながら学べる工夫がされています。

(森田委員)

一年生が興味を持って意欲的に学習していけると思われるのはどちらですか。

(内山林小学校長)

どちらの教科書も入門期における学びに対する丁寧さは感じられます。「光村図書出版」は、特にこれから学んでいこう、やってみたいと感じられるような内容で、イラストを使用するなどの工夫が見られます。

(吉本委員)

「光村図書出版」は、所沢市内では何年くらい使われているのですか。

(内山林小学校長)

把握していません。

(吉本委員)

国語の教科書では大分長く使用されていると思いますが、使い慣れているから推薦されたのではということも想定されますが、意図的に変更したいというような意識はなかったのですか。

(内山林小学校長)

選定委員の中でも、子どもの学びやすさという視点を外すことはできないというところで「光村図書出版」が選ばれています。

(吉本委員)

変化というものは決して悪い意味ではなく、あって良いものと捉えて検討していただきたい。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、選定委員会推薦の「光村図書出版」「教育出版」の2者を協議の対象とします。2者についてご意見をお願いします。

(寺本委員)

私は「光村図書出版」を推薦します。対話的な場面について、5年生の教科書ですが、「意見が対立したときの問いかけパターン」というページがあり、「人と意見を区別する」という画期的な提案があります。5年生にこの内容を学ばせようとしているという点で意識が高いと感じました。また、6年生の教科書には「伝えにくいことを伝える」というページがあります。ただ対話の場面を設定したというだけでなく、子どもたちにとって後々参考になるような仕掛けがされてあります。また、国語が不得意な子どもであっても、おもしろい発表ができるような工夫がされています。これは今までの「光村図書出版」の教科書では見られなかったもので、細かい部分まで気を配っているように感じました。

(中島教育長)

これまでの意見から、「光村図書出版」の教科書を候補としてよろしいですか。

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「光村図書出版」の「国語」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《書写》

以下、選定委員会委員の内山林小学校長より書写について報告があった。

現在使われている教科書は「教育出版」である。はじめに、書写の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、「必要感」の工夫として、3年生以上で「点画の名前」を空欄とし、それを繰り返し記載させることで、「とめ」「はらい」などの名称を覚えさせるようにしている。また、その用語を用いて児童同士で話し合えることを可能と

させている。「思考の深まり」への工夫として、学習したことを生かし、硬筆の書き込みができるようになっている。また、クイズや問題形式の問いかけで、児童の学ぶ意欲を高める工夫がされている。「達成感」としては、該当学年までの「書写のかぎ」が巻末にまとめて示されていることで、既習事項を振り返って確認できるように工夫がなされている。「教科横断的な視点」については、「文字といっしょに」のコラムの中で、さまざまな文字文化に触れることができるようになっている。

「教育出版」は、「必要感」の工夫は、3年生以上では、毛筆における、始筆、送筆、終筆を点画の種類や筆圧の大きさを表現している。また、試し書きから日常化までのプロセスが、「卵～ひよこ～鳥」のイラストで明確化されており、「どのように学ぶか」の見通しが持てるようになっている。「思考の深まり」については、2年生以上で「試し書き」と「まとめ書き」の時間が設定されており、それを比べて、「何画目がどうなっているか」を友達と話し合うことができるようになっている。「達成感」については、①「つかむ 考える」②「書く 確かめる」③「振り返る」④「生かす 広げる」という学習の進め方が示されている。さらに、毛筆の練習の後に硬筆が入っており、日常を意識した構成になっている。「教科横断的な視点」については、「〇〇で生かす」のページで、どの場面でその学習内容を活用できるかを示している。

「光村図書出版」は、「必要感」の工夫としては、全学年1教材、1目標としており身に付ける力を教材名としている。また、1、3年生でスタートブックが用意され、特に1年生では、家庭からの応援メッセージをもらう欄が用意されている。

「思考の深まり」については、4年生でSDGsブックがある。書写の授業とSDGsを結び付けている。4年生以上では、より明確に単元名の隣に「〇〇を考えよう」と考える内容が明記されている。さらにイラストや、吹き出しで考える際のヒントが占められているページもあり、教えるのではなく児童に気付かせるよう工夫されている。「達成感」においては、「書写ブック」で1年生から6年生までに学んだことを日常生活に広げる視点を示している。「教科横断的な視点」として、「書写を広げたい」ページで、他教科との関連が図られている。

次に、推薦する教科書とその選定理由を説明する。書写について、最も適しているものとして「教育出版」の「小学 書写」が選定委員から最も多くの推薦があった。次に適しているものとして、「光村図書出版」の「書写」が挙げられた。

「教育出版」を選定した理由としては次の3点が挙げられる。

1点目の理由は、学習の進め方を「つかむ・考える」「書く・確かめる」「ふり返る」「生かす・広げる」の四段階で構成し、見通しをもって学べるように工夫されている点である。また、手本に細部にわたる注意書きがあり、基礎的・基本的な知識・技能を身につけさせるためのポイントが示されており、自ら学べるような構成になっている点が挙げられる。

2点目の理由は、毛筆学習の前後に硬筆による「ためし書き」「まとめ書き」欄を設けたり、「横書きの書き方」を扱ったりすることで、毛筆学習が硬筆学習、日常生活での筆記に生かされるような工夫がされている点である。

3点目の理由は、「知りたい 文字の世界」や「レッツトライ」、「書いて伝え合おう」、「知っておこう」など、児童の書写学習や国語への関心意欲を高めさせる教材・写真資料が複数用意されている点である。また、自分の考えや思っていること等を文字化させて、体感させる場があり、「考えよう」と児童に問いかけ、自分の課題に気づき、考えさせる工夫があることが挙げられる。

次に適している「光村図書出版」の選定の理由を同じく3点挙げる。先に説明した「教育出版」と比べると、推薦の度合いは高くない。

1点目の理由は、巻頭に「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という「学習の進め方」を示し、各教材のページの右下に「たいせつ」として基礎的・基本的な知識・技能を身につけさせるためのポイントが示されており、自ら学べる構成になっている点である。

2点目の理由は、毛筆教材と同様の硬筆課題を設定して毛筆と硬筆の関連を図るなど、構成にも工夫を凝らしている点や、穂先の向きや筆圧、運筆速度の変化など、毛筆学習の基礎基本を養う上での手立てや解説が、2色の薄墨を使ったり、写真やイラストなどを用いたりして書かれている点が挙げられる。

3点目の理由は、手紙や原稿用紙の使い方など、言語活動や日常生活との関連教材も豊富で指導内容も充実しており、児童の書写学習や国語への関心意欲を高める工夫がされている点が挙げられる。

以下質疑

(寺本委員)

「教育出版」の水筆について、1年生から使用とのことですが、使用頻度として

はどれくらいなのか、1年生の何学期くらいから使用し始めるのですか。

(内山林小学校長)

頻度は個々の先生に依りますが、時期は1年生の終盤です。

(清水委員)

第一印象として、おもしろい又は魅力を感じられるのはどの教科書ですか。

(内山林小学校長)

一年生の水筆に関して言えば「教育出版」、三年生から毛筆が始まることに関して、どの教科書も学習の雰囲気や活動の様子を大きな写真やイラストで分かりやすく示していますが、毛筆を始める意識付けが強いのは「教育出版」が見開きで、なぜ毛筆を勉強する必要があるのかを漫画仕立てで載せています。

(宮本委員)

左利きの子どもに対し、先生にとって教えやすいもの、また、子ども自身も上手く書けると思えるようなものはどちらですか。

(内山林小学校長)

どちらの教科書においても、二次元コードで書き方を見ることができるといった工夫がされています。

(寺本委員)

カタカナの「シ」と「ツ」、「ソ」と「ン」の違いについて「光村図書出版」では1年生から取り入れているようですが、他者は記載がないため、それは敢えて2年生以降の方が良いと判断しているのでしょうか。

(内山林小学校長)

記載がない意図については把握できていませんが、「光村図書出版」はカタカナの筆順についてもしっかりと分かりやすく記載されています。他者は最終ページの見開きに記載されているのみです。

(吉本委員)

硬筆に重点を置いているのはどの教科書ですか。

(内山林小学校長)

「教育出版」は、毛筆の学習に入る前に毛筆で書く文字を硬筆で書きます。そして毛筆で書いた後、また硬筆で書きます。そうすると、最初に硬筆で書いたものと毛筆を習った後の硬筆と比較することで、自分で書いた文字を評価することができ

るように工夫されています。

(寺本委員)

「教育出版」と同様の学習法は「光村図書出版」に記載はないのですか。

(内山林小学校長)

「光村図書出版」は、最後に硬筆の学習となりますので、始めに硬筆の学習をする記載はありません。

(寺本委員)

「光村図書出版」の最初に「足はぺったん、背中はぴん」という表記がありますが、1年生初期においてこの動作は必要なことなのですか、また効果はあるのですか。

(内山林小学校長)

動作から入ることで、学習意欲を沸かせるというスイッチの役割をしているもので、効果はあると認識しています。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「光村図書出版」の「書写」、「教育出版」の「小学 書写」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。所沢市の子どもたちにとって1番ふさわ



しいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「教育出版」 11点、「光村図書出版」 7点

(中島教育長)

それでは、投票の結果、「教育出版」の「小学 書写」が候補となりました。このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いただきます。

《社会》

選定委員会委員の五十嵐宮前小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている社会の教科書は、「東京書籍」である。はじめに、社会の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、問題解決の学習過程「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の見出しが大きく表示され、児童が見通しをもち、分かるように学習できるよう工夫されている。また、それぞれの段階ごとに学習のめあてが明確に示され、児童が見通しをもって学習を進められるようになっている。また、5年生は「上・下」、6年生では「政治・国際社会編と歴史編」に分冊されており、持ち運びに要する児童の負担を軽減している。

「教育出版」は、毎時間の導入時に「この時間の問い」、終末の段階に「次につなげよう」が設けられており、問いの連続性に重点を置いた構成となっている。

また、「学びのてびき」では、学習活動の事例や方向性を示すことで、児童が見通しをもって学習を進められるようになっている。「学び方・調べ方コーナー」では、考えを深めるための手立てとして、「ノートの手書き方」や「グラフの読み取り方」を分かるように示している。

「日本文教出版」は、児童のキャラクターと吹き出しで、様々な考え方や多角的な視点を示し、思考が深められるように工夫されている。単元の終末に「わたしたちのSDGs」が設定されており、身近な事例を基にして、世界的な課題について各学年に応じた視点で問題意識が高められるようになっている。

次に、推薦する教科書とその選定理由を説明する。社会については、最も適しているものとして、東京書籍の「新しい社会」、次に適しているものとして、教育出版の「小学社会」を推薦する。

「東京書籍」の「新しい社会」を選定した1点目の理由は、5・6年生の教科書が分冊となっていることである。学習する教科が多い高学年については、教科書等の持ち運びも大きな負担となる。分冊により軽量化することで、持ち運びの負担を軽減することができる。さらに、6年生では「政治・国際社会編」と「歴史編」に分冊され、内容面でも分冊のメリットを生かすことができる。

2点目の理由は、「まとめる」の段階で、児童自身が書き込めるワークシートが設定され、学習内容を焦点化してまとめることができる。

3点目の理由は、写真資料や統計資料、地図などを多く掲載し、児童が学習問題を解決するサポートとなっている。特に写真資料は、児童に考えさせる視点を明らかにしたものを大写しで掲載し、児童に分かりやすく活用できるようにしている。

「教育出版」の「小学社会」を選定した理由の1点目は、単元を貫く学習問題を「みんなでつくった学習問題」、1時間ごとのめあてを「この時間の問い」として明示していることである。

2点目の理由は、学習に必要な用語を「キーワード」で示し、さらに巻末の「さくいん」で再掲することにより、学習内容の定着が図れるよう工夫されている。先に説明した「東京書籍」と比べると、推薦の度合いは高くない。

以下質疑

(吉本委員)

「東京書籍」の理由として、分冊により持ち運びやすいという点がありましたが、そこは理由としてふさわしくないと考えます。

(寺本委員)

教科書における公平性とはどのようなものと考えますか。

(五十嵐宮前小学校長)

子どもたちがどちらかに偏った視点ではなく、どちらの視点でも考えられ、事実として捉えられるような記述がされているかどうかというところが重要だと考えます。

(清水委員)

推薦された教科書では、社会的な見方や考え方として、どのような指導内容の記述となっていますか。

(五十嵐宮前小学校長)

学習指導要領に拠れば、全ての教科において社会的な見方や考え方が取り上げられていますが、社会において見方は視点、考え方は方法として整理されています。

どちらの教科書も大きな差はありませんが、特徴として「東京書籍」は、学習過程「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の中で特に「いかす」という点で、自分で考えて判断するという社会参画を促すようなことが示されています。「教育出版」についても「広げる」「つなげる」というところで、今まで培った見方を表現したり発信したりするという点が工夫されていると考えます。

(宮本委員)

教科書が分冊されているかどうかによって、内容に違いはありますか。

(五十嵐宮前小学校長)

一冊だと学習の振り返りが容易であると考えられますが、「東京書籍」の場合は内容によって分冊されていますので、特に6年生では「政治・国際社会編」と「歴史編」に分冊されており、その点について大きな問題はないと考えます。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、選定委員会推薦の「東京書籍」「教育出版」の2者を協議の対象とします。2者についてご意見をお願いします。

(寺本委員)

私は「東京書籍」を推薦します。「教育出版」はイスラム文化に対して、親しみや身近に感じられるような記述がされているという点では優れていると考えますが、キーワードの説明や公平性という点で、事実に対しての記述だけでなく、グラフや写真で示すなどの工夫が見られる点で、「東京書籍」を推薦します。

(中島教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい社会」、「教育出版」の「小学社会」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。所沢市の子どもたちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」 11点、「教育出版」 7点

(中島教育長)

それでは、投票の結果、「東京書籍」の「新しい社会」が候補となりました。このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いただきます。

《地図》

選定委員会委員の五十嵐宮前小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている地図の教科書は、「東京書籍」である。はじめに、地図の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、イラストを用いた地図のきまりの説明や地図帳の使い方により、地図帳導入期の児童にも楽しみながら調べ、地図に親しむことができるよう配慮された構成となっている。各図等の着眼点や課題をキャラクターの吹き出しを用いて示すことにより、児童に意識させるよう工夫している。日本の歴史や伝統文化に関

する写真、資料が豊富で6年生の歴史学習にも活用できるようになっている。

「帝国書院」は、3年生からの地図使用に対応した構成となっている。具体的には、「地図のやくそく」「地図の使い方」で索引や方位、縮尺などの基本的な使い方について分かるように説明されている。また、「広く見わたす地図」では、児童が各地域の特色をとらえやすいように、その地域の名産品や観光地のイラストを用いて、興味が持てるように工夫して示している。「地図マスターへの道」「トライ」を設け、児童が主体的に地図帳を活用したくなるよう工夫されている。「日本の自然災害と防災」について4ページにわたり地図や写真、イラストを用いて、児童に分かるように提示している。

次に、推薦するものとその選定理由を説明する。地図については、最も適しているものとして、「帝国書院」の「楽しく学ぶ小学生の地図帳」を推薦する。

「帝国書院」については、選定委員の多くが推薦に賛成した。その理由は次の4点である。

1点目の理由は、地図入門期の3年生を意識して、巻頭で地図帳の使い方について分かるように説明されている。

2点目の理由は、「地図マスターへの道」や「トライ」により、子どもたちが主体的に地図帳を活用したくなるよう工夫されている。具体的には、問いに答えていくことで対話的な学びを実現しながら地図帳の活用法や社会的な見方・考え方を身に付けることができるよう工夫されていることである。

3点目の理由は、地図資料としての内容の豊富さである。地図に付随する資料についても多く掲載されている。具体的には、「ひろく見わたす地図」に10ページを使い、日本全体を地域区分ごとに概観できるようになっている。

4点目の理由は、「世界と地球儀」では、児童が実際に調べている写真や、緯度と経度の説明に提灯やスイカなど児童の身近なものを用いて分かるように説明している。

以上の理由が挙げられ、話し合いを通して「帝国書院」が最も適しているものと判断し、推薦するものである。

以下質疑

(寺本委員)

自然災害に関する学習に要する時間数は、どの程度ですか。

(五十嵐宮前小学校長)

5時間程度です。

(吉本委員)

地図と地理を上手く組み合わせていると思われるのはどちらですか。

(五十嵐宮前小学校長)

どちらも中学校へ向けての地理的分野を意識して作られていると感じられますが、「帝国書院」の方が内容の詳細さ、豊富さにおいての記述がされていると思われれます。

(清水委員)

カーナビ等のナビゲーションと地図・地理の関連について、何か記述はされていますか。

(五十嵐宮前小学校長)

直接的にナビゲーションに関する記述はないと思われれますが、GPSやナビゲーションシステムを使えるようになるには、子どもに正確な地図の使い方、見方を理解させる必要があると考えます。

(森田委員)

見やすさや使いやすさに関しては、どのような配慮がされていますか。

(五十嵐宮前小学校長)

見やすさに関しては、それぞれに工夫が見られますが、子どもたちにとってあまり情報量が多すぎると混乱してしまうおそれがあります。例えば、「東京書籍」は世界の全国名を記載していますが、「帝国書院」は主要な国、教科書に関連する国々を記載しているなどの違いがあります。

(宮本委員)

「帝国書院」の広く見渡す地図においては、全国の特産や産業などがイラストで見やすく記載されていることや、各県の地形を把握できるような記載があり、子どもたちが段階を経て地図に親しんでいく構成になっていると感じました。

(寺本委員)

2者の比較としては「帝国書院」は自然災害に関する記載が多く、「東京書籍」は分量が少ないということ、また「帝国書院」は索引に歴史に関する記載があり、歴史の学習をする上でタイアップして活用できると感じました。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった1者について、これまでの皆様の意見から、「帝国書院」の教科書を候補とすることとしてよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、

「帝国書院」の「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《算数》

選定委員会委員の関根北小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている算数の教科書は、「東京書籍」である。はじめに、算数の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、単元の後半にかけて、キャラクターの吹き出しや補助発問、まとめの内容を段階的に絞り、児童が主体的に問題を解決するよう構成されている。巻末の「ほじゅう」や「チャレンジ」等では、日常の事象を数理的に捉える良さを実感できるよう工夫されている。著名人による「私と算数」も関心を高められるようになっている。

「大日本図書」は、単元の主要な学習を「じっくり深く学び合おう！」と位置づけ、問題解決の流れをサイクルとして示している。解決方法を言葉で説明したり、図や式等と結び付けて考えたりして、対話的に学習できるよう工夫されている。3～6年には「なるほど算数教室」があり、SDGs や日常の生活を踏まえて取り組めるようになっている。

「学校図書」は、巻頭に、算数の学びに重要と考えられる9つの「見方・考え方」を表し、楽しみながら学習できるよう工夫されている。対話によって課題を解決し、

学習を深めることができるような問題設定の工夫がある。5年社会と理科、6年家庭など他教科の学びに触れる所もある。こちらの教科用図書のみ、横長A B版を採用している。

「教育出版」は、巻頭に「算数のミカタ・考え方」があり、単元を通して、数学的な見方・考え方が繋がり、授業を問いの連続で構成できるよう「はてな？なるほど！ だったら!？」を学習サイクルの基本としている。多様な考え方を掲載して学びが深まる工夫もある。全学年でプログラミング教材や表計算ソフトを用いた活動を設定している。

「新興出版社啓林館」は、基本単元で、全ての時間に「めあて」と対応する「まとめ」が例示され、主体的に学習できるよう構成されている。大切な「数学的な見方・考え方」を強調して示し、関連付けて考えられるよう工夫されている。「学びのまとめ」は、習熟度や興味・関心に応じて取り組める構成で「未来へのとびら」も興味を広げる工夫になっている。

「日本文教出版」は、問題の次に「めあて」、「めあて」の近くに「見方・考え方」があり、見通しをもって考えるための着眼点が示されている。巻末に、補充、応用発展、探究の3種の問題が用意され、実態に応じて取り組めるようになっている。3年以上に「倍」と「割合」を扱う単元が設定され、6年には、数学へ円滑につながるような工夫がある。

次に推薦する教科書とその選定理由を説明する。算数については、最も適しているものとして、「東京書籍」の「新しい算数」、次に適しているものとして「教育出版」の「小学 算数」を推薦する。

最も適しているものとしてあげた東京書籍の主な推薦理由は、次の3点である。

第一に、学習の進度に応じて補助発問の量やまとめの内容を段階的に絞り、児童たちが主体的に問題解決に取り組み、自分たちの言葉で学習をまとめていくよう設定されており、主体的な取組や思考の深まりに繋げる上で有効と思われる。

第二に、適切などころに、適切な量で、問題解決のヒントとなるポイント等が示され、思考の視点を得られるように工夫されている。

第三に、入学してから5月中旬頃までの1年生の学習について、A4判に大判化し、無理なくブロックを置けるようにするなど、数学的活動にスムーズに取り組めるようにしたり、書き込みができるようにしたりしている。



学校研究では多くの学校が「ふさわしい」と判断しており、選定委員の多くが推薦に賛成したため推薦する。

次に適しているものは、「教育出版」である。推薦理由は、次の3点である。

第一に、1つの学習を問いの連続で構成できるよう「はてな？ なるほど！ だったら!？」を学びのサイクルの基本としており、レイアウトに工夫が見られる。巻頭に「算数のミカタ・考え方」もあり、数学的な思考の積み上げに有効と思われる。

第二に、学期の始めに、授業開きのための特設教材があり、学習への主体性、学びに向かう力を育む工夫がされている。

第三に、全学年でプログラミング教材や表計算ソフトを用いた活動を取り入れており、プログラミング的思考や情報活用能力を育成に繋がるよう工夫されている。

以下質疑

(寺本委員)

「東京書籍」の6年生の最終ページで「世界の計算の仕方」というものがありますが、授業で実際にそこまで到達できますか、若しくは、当該ページを授業で取り扱うことはありますか。

(関根北小学校長)

「東京書籍」を扱っている場合は、「卒業旅行」の単元で必ず当該ページに触れることとなります。

(宮本委員)

「教育出版」では、全学年でプログラミング教材や表計算ソフトを用いた活動を取り入れて、プログラミング的思考や情報活用能力を育成に繋がるよう工夫されているとのことでしたが、「東京書籍」についてはどうですか。

(関根北小学校長)

各者、算数ではプログラミングを扱う内容となっており、「東京書籍」では特に4年生から6年生にかけて扱うこととなっています。

(宮本委員)

授業で扱う際、実際にやってみようというような指導を行うのですか。

(関根北小学校長)

その通りです。算数だけでなく、他の教科においても同様にプログラミング的思考を深めていくものと考えます。

(宮本委員)

プログラミングに関して、授業に取り入れやすい、子どもが読解しやすい内容として違いはありますか。

(関根北小学校長)

実際にコンピューターを使ったプログラミング的学習と、使わないアンプラグドという学習法を用いた教科書もありますが、内容として大きな差はありません。

(吉本委員)

主体的な取組や思考の深まりという説明がありましたが、算数は正に覚えてそれをテストなどで実践していくということが必要だと考えます。所沢市は、特に算数・理科が全国平均以下というデータもありますので、この地域に適した教科書を選定していただきたいと考えます。

(寺本委員)

「東京書籍」の「新しい算数」という項目で、考えるところから入らせようという内容になっていますが、それに反応できる子どもがどのくらいいるだろうかと思えます。一見すると、算数の面白みが分からないのではと思えますが、どのように考えていますか。

(関根北小学校長)

6年生の最初の単元では、前半では基本的なことを覚え、後半部分でまとめのポイントが示されており、自分の言葉でまとめるという段階的に作業を進めていきます。一つの単元の中でも必要となる部分をしっかり覚え、それを活かして論理を固めていくという構成になっています。また、「振り返ろう」の単元では既習を活かしていくところになり、振り返りにより覚えたことを活かし、新しいことを積み上げていくという構成になっており、重要な項目であると捉えています。

(清水委員)

躓きやすい部分に対して、分かりやすくするなどの工夫がされている教科書はありますか。

(関根北小学校長)

その点については各者捉えて研究していますので、躓きやすいポイントの傍にヒントを記載するといった配慮がされています。

(宮本委員)

算数は答えは一つですが、解き方は色々とあるので子どもがそれぞれ自分なりの解き方があり、友達と違う解き方も認められるという思考を育てたいと考えます。苦手教科になりがちですが、長く付き合っていきたいと思っています。

授業で躓いた部分の振り返りを、家庭学習においてもできるような内容になっている教科書はありますか。

(関根北小学校長)

どの教科書も、系統を重視して前の単元のどことつながっているかなどを意識して編集されています。自分で振り返る際にレイアウトが重要かと思いますが、「東京書籍」「教育出版」とともに、見開き右側に課題となる部分の記載があり、次ページを開いたときに考え方、まとめが記載されているような構成になっています。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(吉本委員)

私は「新興出版社啓林館」を推薦します。とにかく覚える、覚えて書ける、問われたときに書けるということは、どの学年に対しても共通のことかと思いますが、覚えることを重視して算数、数学が得意になる、思考力のある子どもが増えることにつながるのには「新興出版社啓林館」の教科書だと考えます。

(寺本委員)

私は「新興出版社啓林館」を推薦します。特に章末のページを開いてぱっと見たときに、何が問題なのか、何を閃けば良いのかということを感じ、そこまで到達した子どもは自分で進んでいけるようになると考えます。算数、数学が好きになる子どもにとっては「新興出版社啓林館」の方がおもしろいと感じるのではと思います。

(中島教育長)

他に推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者と、追加となった1者を含めた3者について、協議の対象とすることよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、選定委員会推薦の「東京書籍」「教育出版」「新興出版社啓林館」の3者を協議の対象とします。3者についてご意見をお願いします。

(吉本委員)

算数、数学の得意な子どもは、主体性のある思考力を持っていますが、思考範囲が狭い傾向があります。社会に出て気付くということもありますが、小学生のうちに将来を見据えた教育を行うべきと考えます。算数、数学がおもしろいと思えることで、そこから色々な思考に結びついていくものと思います。

(中島教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい算数」、「教育出版」の「小学 算数」、「新興出版社啓林館」の「わくわく 算数」、3者が決まりました。候補となった3者の中から投票により、1者を選ぶということよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。所沢市の子どもたちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」 12点、「教育出版」 7点、「新興出版社啓林館」 17点

(中島教育長)

それでは、投票の結果、「新興出版社啓林館」の「わくわく 算数」が候補となりました。

このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いただきます。

《休 憩 午後 3 時 1 7 分～午後 3 時 2 7 分》

《理科》

選定委員会委員の生野三ヶ島小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている理科の教科書は、「東京書籍」である。はじめに、理科の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、左側のページに単元の学びの流れが矢印とともに示され、学習の見通しが持てるようになっている。単元の初めの「レッツトライ」で学習内容が提示され、実験や観察でポイントとなる点が示されているため、主体的な問題解決活動ができるように工夫されている。

「大日本図書」は、問題解決の過程を「見つけよう・調べよう・伝えよう」と色分けして分かるように示している。単元の初めに「問題発見の場面」が設定されており、どんなことを学習するのか示されて導入が分かるようになっている。

「学校図書」は、巻頭の「理科の芽を育てよう」では、その学年で身につけさせたい力を示し、「理科モンスター」というキャラクターとゲーム感覚を取り入れて、学習意欲を喚起している。単元の初めには「できるようになりたい」で、この単元で身につけさせたい力を示している。

「教育出版」は、「学習前の〇〇さん」というように子どもの気づきから対話的な活動を導き、学習活動を展開している。児童や話合いや活動の中で主体的に問題を見出し、解決していく流れとなるよう工夫している。

「新興出版社啓林館」は、巻頭に「理科の楽しみ方」というページを配置し、課題解決に向けた流れや見通しを示している。ここで示している「予想・計画・結果・考察」等は、単元に入ってもページの左側に示され、点線で結ばれ探求的な学習が展開できるよう工夫されている。

次に、教科用図書選定委員会で選定した教科書とその推薦理由を説明する。

最も適しているものとして「東京書籍」、次に適しているものとして「新興出版社啓林館」を推薦する。「東京書籍」を推薦する理由は、次の4点である。

1つ目の理由は、「学習の流れをつかめる」という点である。各単元のページには、ページの左側に学びの流れが示され、「問題・予想・計画・実験・考察・まとめ」の流れが矢印で示されている。また、見出しも大きくわかりやすいため、学習の見通しが持てるようになっている。

2つ目の理由は、単元初めの「レッツトライ」で学習内容が提示され、子ども達ができるような導入となっている点である。見開き2ページで示された活動は、児童が自ら課題を発見するために適した活動であり、どの学校でも教員と児童が一緒に取り組むことができる内容である。また、実験・観察の手順も示されているため、主体的な問題解決活動ができるように工夫されている。

3つ目の理由は、「問題・実験」の見開きページの次に、「結果・まとめ」の見開きページとなるように構成されており、実際の授業展開に合わせて教科書を活用できる点である。どの単元でも同じ構成となっているため、教員にとっても指導しやすい教科書となっている。

4つ目の理由は、特に実験や観察が難しいと考えられる単元においても写真や図を効果的に掲載し、児童が理解しやすいよう配慮されている点である。この教科書は、大きな紙面を有効に活用して、わかりやすい写真や図を多く載せている。

以上のことを踏まえると、所沢市の児童にとって、「めあて」と「見通し」をもって主体的に学習できる問題解決的な学習の流れを重視したもの、また学校研究の結果でも学校からの支持が多いことから推薦する。

次に、「新興出版社啓林館」を推薦する理由は、次の4点である。

1つ目の理由は、「東京書籍」と同様に「学習の流れをつかめる」という点である。ページの左側に示された「問題・予想・計画・実験・結果・考察・まとめ」は、点線で結ばれており、一目で学習の流れが理解できるよう工夫されている。また、巻頭の「理科の楽しみ方」でも課題解決に向けた流れを環状に示しており、探究的な活動を重視していることが教師にも児童にもわかるよう工夫されている。

2つ目の理由は、「実験の説明がわかる」という点である。実験の内容に合わせて、安全上の配慮事項を詳しく説明したり、用具の扱い方を図で説明したり、児童が理解しやすい配慮をしている。

3つ目の理由は、「学んだことを定着させるための構成が工夫されている」という点である。単元の終わりには「理科の広場」や「まとめノート」「たしかめよう」「活用しよう」があり、思考力や判断力、表現力などを一層育成することができるよう工夫されている。

4つ目の理由は、3年生だけではあるが、巻末に「植物たんけんシート」がついている点である。3年生に進級し、新しく学ぶことになる理科という教科において、どの児童も意欲的に活動ができるよう配慮されている。大変有効に活用できる資料といえる。先に説明した「東京書籍」に比べると推薦の度合いは高くない。

以下質疑

(寺本委員)

実験における混ぜると危険な薬品など、危険回避に関する記載は「東京書籍」のみかと思われませんが、他の教科書にも記載はありますか。

(生野三ヶ島小学校長)

各者とも薬品に関する注意喚起は記載されています。より具体的に、これとこれを混ぜると危険というような内容を大きく分かりやすく記載しているのは「東京書籍」ですが、どの教科書にも巻末に薬品に関する詳細な記載があります。

(吉本委員)

各者とも入口のところで内容を覚えさせようという意欲が感じられますが、どれも大きな差がないように見えます。違いは何かありますか。

(生野三ヶ島小学校長)

導入段階での覚えさせようという意図かどうかは分かりませんが、二次元コードを使用したクイズ形式で点数を点ける教材もあり、その単元で覚えたことを確認するための工夫がされています。

(宮本委員)

子どもに興味を持ってもらえるように、大きな写真やイラストを用いたり、構成などの工夫をしているのはどの教科書ですか。

(生野三ヶ島小学校長)

「東京書籍」の写真が特に見やすいと考えます。実験の実施が困難な場合を想定し、大きな紙面を有効に活用し、分かりやすい写真を使用することを意図的に行っていると思われま

(寺本委員)

水酸化ナトリウムを使用した実験は行いますか。

(生野三ヶ島小学校長)

危険なため取り扱いません。

(森田委員)

授業において、子どもたちが主体的に取り組めると思われるものは、どの教科書ですか。

(生野三ヶ島小学校長)

どの教科書も主体的に取り組めると考えますが、中でも「東京書籍」は見開きページにめあてや問題が書いてあり、次ページに実験で行うことが書いてあるという構成になっています。それにより教科書で学んだことを実験で行い、さらに教科書に戻って確かめるという分かりやすい流れになっています。

(清水委員)

若手の教師が教えやすいのは、どの教科書ですか。

(生野三ヶ島小学校長)

「東京書籍」の導入の見開きページが大変見やすく、例えば、てこの原理について子どもに実験をさせ、手応えを感じさせて学習に入っていくというような記載になっています。「東京書籍」はほとんどの単元で、子どもが実際にできるような、また探すような実験を導入としており、若手の教師でも子どもに比較的伝えやすい内容となっています。

(吉本委員)

文章だけでなく分かりやすくするには写真やイラストが必要かと思いますが、写真は情報量が多いためイラストの方が適していると考えます。特に「新興出版社啓林館」は「東京書籍」と比較し写真が少ないため、内容としてではないですが、本の構成として適しているのではないかと感じました。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、協議



の対象とすることによろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(寺本委員)

私は「学校図書」を推薦します。導入で災害時のことから入り、てこの原理の部分では、ペットボトルを使った実験装置を用いています。他の教科書は全て砂袋を使っていますが、日常的にある物を使った実験の方が子どもにとってもより身近に感じられると思います。電流の実験についても、自分でも簡単に作れると思わせるような内容で、子どもにさらにこんな事もできるのではないかという発想させるような記載になっています。他の教科書の使い勝手が良いという部分も理解できますが、子どもの発想の起点となるようなアイデアが優れていると感じるのは「学校図書」です。

(中島教育長)

他に推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者と、追加となった1者を含めた3者について、協議の対象とすることによろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、選定委員会推薦の「東京書籍」「新興出版社啓林館」「学校図書」の3者を協議の対象とします。3者についてご意見をお願いします。

(寺本委員)

学校の特別な装置を使わなくとも、子どもが自分の身の回りの物でも、実験と同じことができるという感覚を持つという観点で「学校図書」を推薦します。

(吉本委員)

作り手が読み手に覚えてもらいたいという意欲があり、情報量の多さを考えて読み手に配慮しているのは「新興出版社啓林館」だと思います。

(中島教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい理科」、「新興出版社啓林館」の「わくわく理科」、「学校図書」の「みんなと学ぶ 小学校理科」、3者が決まりました。候補となった3者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。所沢市の子どもたちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」12点、「新興出版社啓林館」15点、「学校図書」9点、

(中島教育長)

それでは、投票の結果、「新興出版社啓林館」の「わくわく理科」が候補となりました。

このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いただきます。

《生活》

選定委員会委員の関根北小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている生活の教科書は、「東京書籍」である。はじめに、生活の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、スタートカリキュラムからの円滑な接続や、上巻から下巻へより探究的に学べるよう2年間の学びが構造化されている。話し合いの様子が具体的に表され、イメージしやすくなっている。また、川越まつりが掲載された「季節の行事」や「本当の大きさ生き物図鑑」等の資料、また、二次元コードのコンテンツが豊富である。

「大日本図書」は、自分の考えを書くスペースを設け、思いを言語化することで自分ごととして取り組めるように工夫されている。活動ごとにその時の気持ちを書

き込めるようになっている。また巻末には、「学習道具箱」や豊富な資料が掲載されており、二次元コードによる動画等、学びがより深まるためのウェブコンテンツが準備されている。

「学校図書」は、活動単位が見開きページで完結するため、学習の見通しを持って、右下には次時へとつながる対話場面が示されていて、学びの連続が期待される。各単元の最後には「もっと〇〇したい」のページが設けられており、これまでの活動を通じて得た自信をもとに、次への活動や課題に広げ、自分自身の生活につながるよう工夫されている。

「教育出版」は、各単元に「わくわくスイッチ」が設定されており、この単元で何を学習するのか、自分はどんなことをめあてに学習すればよいのかが分かるよう工夫されている。親しみのあるキャラクターの言葉での「かんがえまとめいろ」が設定されており、学習の流れをつかんだり、ヒントを得たり、振り返ったりできるよう工夫されている。

「光村図書出版」は、見開きで学習展開が一目で分かり、左下に学びを深めるヒント、右下に振り返りの視点が示され、学びを繋げ深めていけるようになっている。各単元の最初に保護者に向けた学習のねらいがある。また、多様な思い・気付きをもつ児童の姿が絵本作家によるユニークな文章と絵で表されている。本市航空公園も紹介されている。

「新興出版啓林館」は、上巻冒頭にスタートブック、下巻巻末にステップブックがあり、学びの連続・段階が意識されている。板書や机のレイアウトなどを具体的に示し、学習の手がかりになるように配慮されている。特別な図鑑ページ、巻末の学習図鑑、電子ブックデジタル図鑑という3つの図鑑で知識や気付きの質を高められるよう工夫している。

次に、推薦する教科書とその選定理由を説明する。生活については、最も適しているものとして、「光村図書出版」の「せいかつ たんけんたい」、次に適しているものとして「東京書籍」の「新しい生活」を推薦する。

「光村図書出版」は、第一に、上下巻2年間分を一貫して、当市で取り組んでいる「心のエネルギープロジェクト」に通じる、自己肯定感等の醸成に係るメッセージが重ねられている。

第二に、児童の気付きや、活動を振り返る際の視点が豊富に示されていて、児童

が意欲、必要感や達成感をもって学習に取り組んでいけるよう工夫されている。

第三に、単元の最初に家庭との連携を意図した保護者向けの学習のねらいを示すとともに、絵本作家によるユニークなイラスト等、気づきのヒント、振り返りも含めて、見開きで学習展開が分かるように工夫されている。

なお、選定委員の推薦では2者の差は大きくはないが、より多く賛成があったため推薦する。

次に適しているものは、東京書籍である。推薦理由は、次の3点である。

第一に、スタートカリキュラムから学習活動への円滑な接続や、上巻から下巻、2年間の学びが構造化されていて、探究的に学びを進めていける工夫がされている。

第二に、課題となる「問いかけ」が同じ所にレイアウトされており、色つきの吹き出しコメントが、児童の気づき、活動の広がりを導く上で有効と思われる。

第三に、活動場面が大きく写真や挿絵で表現されていて、学習への必要感や意欲の高まりに繋がるとと思われる。話し合いや、発表の場を例示した挿絵等もある。

以下質疑

(寺本委員)

「光村図書出版」の記述には自己肯定感に関わる部分が多いとのことでしたが、具体的にどのページに記載がありますか。

(関根北小学校長)

上巻の37ページには、植物の育ちに例えたそれぞれの考え方があるという記述、同じく83ページには、「できないこともある」という見方によって色々なことを肯定する内容の記述、同じく105ページには「子どもも大人もみんな初めて」「いつでもスタートを切れる」という内容のイラストがあり、下巻の51ページには、おもちゃに対しての多様な見方、思いに関するイラストがあり、同じく100ページには、正に心のエネルギープロジェクトそのものにつながるコメントである内容の記述がされています。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、協議

の対象とすることよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、選定委員会推薦の「光村図書出版」「東京書籍」の2者を協議の対象とします。2者についてご意見をお願いします。

(宮本委員)

「光村図書出版」は、「保護者のみなさまへ」という記述の説明が丁寧で、どのようなことをねらいとしているかが分かりやすく、また、イラストも子どもに響くものになっており大変好ましく思いました。

(吉本委員)

「東京書籍」はイラストが多く、子どもにとっても分かりやすいのではと感じました。

(清水委員)

「光村図書出版」は、イラストとセリフの内容がおもしろいと感じました。

(森田委員)

「光村図書出版」は、地元である所沢が掲載されており、子どもたちも興味を持ちやすいと思います。「東京書籍」は、写真とイラストが多く、大人と同じような感覚で見ることができ、子どもの興味を惹くのではないかと感じました。

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「光村図書出版」の「せいかつ たんけんたい」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《音楽》

選定委員会委員の生野三ヶ島小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている音楽の教科書は、「教育芸術社」である。はじめに、音楽の教

科書について、一覧の順に説明する。

「教育出版」は、ページ構成が簡潔なことが大きな特徴である。見開きページの左側に大きな目標を示し、上部に題材のねらいをわかるように示している。児童が見通しをもって主体的に学ぶことができるよう工夫している。

「教育芸術社」は、指導のねらいを丁寧に詳細に示していることが大きな特徴である。見開きページの左側には大きな目標を示し、上部に題材のねらい、また音楽を形づくっている要素をページ下部、「見つける・考える・演奏する」などの指導のポイント等を示している。

次に、教科用図書選定委員会で選定した教科書とその推薦理由を説明する。

最も適しているものとして「教育出版」、次に適しているものとして「教育芸術社」を推薦する。

「教育出版」を推薦する理由は、次の4点である。

1つ目の理由は、「ページ構成が児童にわかりやすい」という点である。児童が題材のねらいに沿って意識して学習に取り組むことができるページ構成となっており、「音楽のもと」等もページの上部等に配置され、児童が歌唱や演奏に集中できるよう工夫されている。

2つ目の理由は、「どの教材にも、学び方を『学びナビ』として示し、児童が主体的に学習に取り組める工夫をしている」という点である。各題材には、曲名の上に題材のねらいが示されているが、そのねらいに近づくための手立てとして、児童の学び方を「学びナビ」に示している。また、とてもシンプルでわかりやすく配置されているため、児童が理解できる表記となっている。

3つ目の理由は、曲によって「見開きページに大きな写真を載せ、児童が歌詞の情景を思い浮かべることができる工夫をしている」という点である。ここでも児童が主体的に学習に取り組む学習過程が意識されており、教師が指導するねらいは次のページに詳しく示されている。

4つ目の理由は、「巻末に『全校合唱』の曲を掲載し、全校合唱で音楽を楽しむ工夫がされている」という点である。ここでは、手話や足踏みをしながら歌うことや低・中・高学年がそれぞれの発達段階に合わせた編制で歌うことが示されており、音楽を愛好する心情を育むことができるようになっている。

また、「教育芸術社」を推薦する理由は、次の3点である。

1つ目の理由は、「何を学ぶのかをわかるように示している」という点である。見開きページの左上に題材のねらい、左側にねらいの解説、右下に音楽の要素等を丁寧に載せている。「考える」や「見つける」といった活動を大きなマークと色分けされたコーナーでわかるように示している。3年生の「リズムとなかよくなろう」では、ページ全体を一つのコーナーとしてまとめ、学習内容が一目でわかる構成になっている。「鑑賞」の題材でもワークシートとして書き込みのできる構成となっている。このように、音楽を専門としない教師にとっても使いやすく工夫されており、教師が指導する上で参考とすることができると思う。

2つ目の理由は、「二次元コードで個別の学習ができるよう工夫されている」という点である。児童は自分で二次元コードを読み取り、自動演奏機能で確かめながら音楽をつくったり、音取りをしたりすることができ、主体的に学習に取り組めるようになっている。

3つ目の理由は、「楽器や楽譜に慣れ親しむ工夫をしている」という点である。オーケストラ等で使用する楽器は、どの学年でも大きな写真で児童の興味関心を高める工夫をしている。3年生のリコーダーでは、頭部管で遊ぶ活動を取り入れ、楽器への関心を高めている。「がくふマスター」では、楽しく音楽記号を学ぶことができる工夫がされている。

以下質疑

(宮本委員)

小学校という発達段階において、先生が指導しやすいと感じるのはどの教科書ですか。

(生野三ヶ島小学校長)

「教育芸術社」です。ページ構成の中で、指導するポイントが細かく示されています。一方「教育出版」は、シンプルなページ構成に重きを置いており、指導するポイントはページ上部や次ページに示されています。音楽担当ではない教師が指導する際は、ポイントが細かく示されていた方が指導しやすいと思いますので、「教育芸術社」であると考えます。

(寺本委員)

「教育出版」は、例えば「春の小川」が曲の最後まで白抜きで記載されていますが、「教育芸術社」でも同様の記載のページはありますか。

(生野三ヶ島小学校長)

全てのページで同様の記載があるか確認していないため不明です。

(寺本委員)

例えば、「教育芸術社」の4年生の12ページの曲ですが、私にとってこの曲のリズムは難しいと感じますが、他の学年でもこのような曲は出てきますか。

(生野三ヶ島小学校長)

どの教科書においても掲載されています。補足ですが、「教育芸術社」のページには二次元コードが記載されており、読み取ると曲のリズムを分かりやすい解説で見ることができます。「教育出版」に同様の二次元コードの記載はありません。

(寺本委員)

「教育出版」の方が新曲に取り組んでいると聞いていますが、実際にどのくらい掲載されていますか。

(生野三ヶ島小学校長)

新曲がどのくらい含まれているかは把握していませんが、今まで「教育芸術社」の教科書を使用していたので、「教育出版」の方が目新しく感じることはあるかと思えます。

(吉本委員)

「聞く」というところで、例えば、ソプラノ、テノールなど初めて聞いたときは驚くのではと思いますが、子どもが抵抗なく聞くことができるのはどの教科書ですか。また、民謡を多く用いているのはどの教科書ですか。

(生野三ヶ島小学校長)

ソプラノ、テノールについて、小学校においては混声の指導がありません。民謡については「教育出版」の方が扱っている量が多いです。

(宮本委員)

内容として歌唱、楽器の演奏や鑑賞とのバランスについてはどうですか。

(生野三ヶ島小学校長)

どの教科書もバランスの取れた内容となっています。

(森田委員)

伝統芸能でお囃子などがあると思いますが、所沢のお囃子は掲載されていますか。



(生野三ヶ島小学校長)

掲載はありません。

(清水委員)

音楽が苦手な教師でも教えやすいと思えるのは、どの教科書ですか。

(生野三ヶ島小学校長)

教師の手助けとなる手立てとして二次元コードが多く、音取りなどにも使えるのは「教育芸術社」です。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、採択の候補として「教育出版」の「小学音楽 音楽のおくりもの」、  
「教育芸術社」の「小学生の音楽」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。所沢市の子どもたちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「教育出版」9点、「教育芸術社」9点

(中島教育長)

それでは、投票の結果、同点となりましたので、同点となった「教育出版」、「教育芸術社」の中から1者を選びます。

それでは、現在候補に挙がっている2者の教科書について、改めて意見はありますか。

(寺本委員)

現在まで「教育芸術社」が長きに渡り使用されてきたこと、また、「教育出版」が新曲を多く扱っているという点で、現代の子どもの音楽環境により近いのではないかと考えます。

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「教育出版」の「小学音楽 音楽のおくりもの」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

## 《図画工作》

選定委員会委員の諸山口中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている図画工作の教科書は、「開隆堂出版」である。はじめに、図画工作の教科書について、一覧の順に説明する。

「開隆堂出版」は、学習を通して育つ3つの力を表したキャラクターが示され、それぞれ「工夫・ひらめき・心」という区分でヒントを与えている。学習のめあてにも生かされ、特に育てたい力に関しては題材ごとに朱書きにして目立つようにしている。掲載されている作品については、数を限定して大きく示すことで、児童は自分の作品に生かせるポイントを読み取ることができる。また、クイズや遊び方の写真もあり、図画工作がより身近に感じられる。各題材が見開き2ページで示されており、「準備・片付け・振り返り」の視点とともに、児童の主体性や言語活動の充実を育む構成となっている。材料や用具がマークと言葉で示され、必要な持ち物がわかるだけでなく、安全面の指導が目立った表記になっている。さらに、「あわせて学ぼう」で、他教科と関連付け、学べるように教科名と内容を記載している。

「つながる造形」コーナーや二次元コードで学習を深めることができ、未来を拓く知恵を養うための工夫が随所に見られる。

「日本文教出版」は、はじめに「図工体操」で、児童が授業へ取り組む姿勢・態度に切り替えることができるよう工夫されている。掲載されている作品については、児童にとって身近な作品や目標となる作品が数多く示されており、二次元コードでも多くの作品が紹介されている。また、「図工のみかた」コーナーでは、発想や活動、形や色のヒントがちりばめられていて、児童の思考力・判断力を深める助けとなっている。また、題材ごとに必要な知識や手順が文章と写真で詳しく解説されていて、自ら学ぶことのできる工夫がされている。造形的な見方・考え方のヒントとなる言葉が吹き出しで示されており、児童が対話するきっかけとなる。表記として、片付けや気をつける点が示され、安全面に配慮されている。SDGs への取り組みや地域環境を活かした内容もあり、これらの題材に取り組むことで図画工作が地域に広がり、「ふるさと所沢を愛する心」を育てることにもつながる。

次に、推薦する教科書とその選定理由を説明する。図画工作については、最も適しているものとして、「開隆堂出版」の「図画工作」を推薦する。

「開隆堂出版」を推薦する理由としては、次の5点が挙げられる。

1点目の理由は、学習のめあてがわかるように提示されており、特に育てたい力に関しては題材ごとに朱書きにして目立つようにしていることである。

2点目の理由は、掲載されている作品については、数を限定して大きく示すことで、児童は自分の作品に生かせるポイントを読み取ることができることである。

3点目の理由は、クイズや遊び方の写真もあり、図画工作がより身近に感じられることである。

4点目の理由は、各題材が見開き2ページで示されており、「準備・片付け・振り返り」の視点とともに、児童の主体性や言語活動の充実を育む構成となっていることである。

5点目の理由は、材料や用具がマークと言葉で示され、必要な持ち物がわかるだけでなく、安全面の指導が目立った表記になっていることである。

以上の5点に加え、学校研究でも高い支持を得ており、当市の児童が必要感を持って学び、思考を広げ深めるために最もふさわしい図画工作の教科用図書として「開隆堂出版」を推薦する。

以下質疑

(寺本委員)

「日本文教出版」の「色のヒント」について、子どもがおもしろいと感じるのはどの部分ですか。

(長嶋清進小学校教頭)

「図工の見方コーナー」等でカラフルな写真を用いたり、色々な形を示したりすることで、子どもの発想を広げられるようなページの工夫がされています。

(寺本委員)

彫刻刀使用時の注意点など、安全面についてどちらも記載はありますか。

(諸山口中学校長)

どちらにも記載があります。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった1者以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(寺本委員)

「日本文教出版」を推薦します。図画工作において学習する子と作業が楽しくて興味を持つという子がいて、例えば、浮世絵や彫刻などを見て興味を持つ、というコンテンツが多くあっても良いのではと思います。その点では「日本文教出版」が優れていると感じました。

(中島教育長)

それでは、選定委員会より推薦のあった1者と、追加となった1者を含めた2者について、協議の対象とすることによろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、選定委員会推薦の「開隆堂出版」と、「日本文教出版」の2者を協議の対象とします。2者についてご意見をお願いします。

(吉本委員)

「開隆堂出版」を推薦しますが、子どもが描いた絵も大人と同様に評価されるという内容の記載がされている方が良いと感じました。

(宮本委員)

「開隆堂出版」はダイナミックな写真を使うなど、興味を惹く内容となっていると感じました。

(中島教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「開隆堂出版」の「図画工作」、「日本文教出版」の「図画工作」、2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。所沢市の子どもたちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「開隆堂出版」 1 1点、「日本文教出版」 7点

(中島教育長)

それでは、投票の結果、「開隆堂出版」の「図画工作」が候補となりました。このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いただきます。

《休 憩 午後4時45分～午後4時55分》

《家庭》

選定委員会委員の日下北中小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている家庭の教科書は、「開隆堂出版」である。はじめに、家庭の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、「課題発見」「課題解決・実践活動」「評価・改善」の3つの

ステップで、問題解決的な学習ができるように構成されている。「成長の記録」では、ポートフォリオとして、2年間の学びの記録を積み重ねることで、生活の中でさらなる課題を設定できるようにしている。「トライシート」というデジタル思考ツールを活用し、思考を可視化したり、他者と共有したりできるようになっている。

「開隆堂出版」は、「気づく・見つける」、「わかる・できる」、「生かす・深める」の3つのステップで、見通しをもって問題解決的な学習が進められるようになっている。「生活の課題と実せん」で今までの学習を振り返り、「2年間の学習を中学校につなげよう」では、さらに将来に向けて小学校の学びを広げることができるようになっている。児童の気付き、考えの変容を記録できる様々な記入カードを設けており、学びが自分ごととして捉えるよう、日常生活と関連付けて思考を深められるようになっている。

次に、推薦する教科書とその選定理由を説明する。家庭については、最も適しているものとして、「開隆堂出版」の「小学校わたしたちの家庭科」を推薦する。

「開隆堂出版」について、選定理由の一つ目は、調理や製作の実習手順が、見開きページを使って横に流れ、目で追いながら見通しが持てるように工夫されている。説明などの情報も、シンプルで分かるようになっている。日常生活に必要な基礎・基本を着実に身に付けられるようにスモールステップで易しいものから積み重ね、発展していくように工夫されている。

選定理由の二つ目は、「生活の見方・考え方 4つの視点」を表した四つ葉のクローバーを掲載し、児童が自分の生活を見直し、課題を見つけられるように工夫したり、学習のめあてを分かりやすく示したりすることで、どのように学習していくのか主体的に学べるよう工夫がされている。学校研究でも高い評価を得ており、本市が目指している授業のスタンダードに活用しやすくなっている点から、最も適しているものとして推薦する。

以下質疑

(寺本委員)

左利きで糸を縫うという動作の見本は記載されていますか。

(日下北中小学校長)

左右両方の見本が記載されています。

(吉本委員)

発達障害の子どもに対しての配慮されている記載はありますか。

(日下北中小学校長)

スモールステップで易しいものから積み重ねられる内容になっており、発達障害の子どもであっても取り組みやすい工夫があると考えます。

(吉本委員)

発達障害には段階があって、教科書があまりに正論すぎるために、学習において苦手と感じてしまうと逃げ場がなくなってしまうように思えるので、そうした点に配慮があった方がより良いと考えます。

(中島教育長)

他に質問や意見はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった1者について、これまでの皆様の意見から、「開隆堂出版」の教科書を候補とすることとしてよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「開隆堂出版」の「わたしたちの家庭科」が候補となりました。

このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いただきます。

《保健》

選定委員会委員の日下北中小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている保健の教科書は、「東京書籍」である。はじめに、保健の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、学習指導要領に示された学習内容が本文にまとめられており、大切な部分を太字で記載されている。各項の内容が4ステップで構成されており、2ページ目には「学習の課題」が明示され、課題を自分のこととして捉え、学びに向かう工夫がされている。「深める・伝える」や「まとめる・生かす」では、他者

と伝え合ったり、学習したことを確認したりすることで、基礎的・基本的な内容を習得し、主体的・対話的で深い学びを進める構成になっている。二次元コードに、デジタルコンテンツやイラストなど多くの資料が示されている。また、他教科と関連する豆知識や配当学年以外の資料も実践的に示されており、中学校との接続が図られているところが特徴である。

「大日本図書」は、単元の始めに「学習ゲーム」が記載されており、1時間の授業内容が、見開き2ページにまとめられている。各ページの左側に学習の流れが示されており、児童が見通しを持って学習に取り組める工夫がされている。また、折込ページを活用することで、「つかもう」の内容について、児童自らが学びたくなるように工夫がされている。学んだことや気づきを書き込める記述欄が設定されており、記入のポイントも明記されている。関連する資料やイラストを見ながら、対話的な活動が多く設定されていることが特徴である。

「大修館書店」は、単元の始めに、著名人の写真や会話がチャット形式で提示されており、児童が関心・意欲をもって学習に取り組める工夫がされている。学習課題によって課題解決の方法を変えることで、思考を効果的に深められる工夫がされている。学習内容から自分の考えを記述するようになっており、実生活を結びつけて考える工夫がされている。二次元コードから、教科書の動画が見られたり、関連するサイトで情報を身に付けたりすることができるようになっていることが特徴である。

「文教社」は、問題提起から、各単元の内容がはじまり、写真や吹き出し等で児童の意欲を喚起する工夫がされている。また、本時に「Menu」があり、学習のめあて、見通しがもてるように工夫もされている。「ここが大事」や「あなたの〇〇宣言」では、単元の要となる内容が端的に示されていたり、友達と伝え合ったりすることで考えの深めることができる構成になっている。「もっと考えよう課」では、学習したことをもとに、思考を広げ深めたり、二次元コードでは、関連機関からの情報を動画や資料を通して学び、理解を深める工夫がされているところが特徴である。

「光文書院」は、単元のはじめに関連のストーリー形式の漫画があり、単元を把握し、児童が必要感をもって取り組めるように工夫がされている。「見つけよう」や「話し合おう」では、生活経験を振り返ったり、発達段階に応じて自分の考えを



記載したり、話し合いができたりする工夫がされている。二次元コードから、オリジナルのアニメーション動画や関連サイトで情報を身に付けることができ、用語解説や科学のとびら「この人に聞く」を通して、他教科との関連や理解を深めることができる工夫がされているところが特徴である。

「Gakken」は、各項の内容が、見開き2ページ（4ページ）で構成されており、「学習の進め方」を通して、児童が見通しをもって取り組める工夫がされている。課題解決に取り組む場面では、話し合いを中心に、思考を広げ深める工夫がされている。「つなぐ」が単元毎に記載されており、他教科との関連がすぐに分かるようになっている。また、二次元コードを活用することで、情報活用能力の向上が図れるように工夫されている。吹き出しの問いから、疑問や考えがまとめられる構成になっている。また、「学びを生かす」では、学習したことをもとに書いてまとめ、学習したことを自分事として捉え、日々の生活に生かせるように構成されているところが特徴である。

次に、推薦する教科書とその選定理由を説明する。保健については、最も適しているものとして、「東京書籍」の「新編 新しい保健」、次に適しているものとして、「Gakken」の「みんなの保健」を推薦する。

最も適しているものとしてあげた「東京書籍」については、一つ目に、学習の進め方4ステップの後半2つ「深める・伝える」や「まとめる・生かす」において、他者と伝え合ったり、学習したことを確認したりすることで、基礎的・基本的な内容を習得し、主体的・対話的で深い学びを進める構成になっているからである。

二つ目に、二次元コードにデジタルコンテンツやイラストなど多くの資料が示されているのも、選定理由の一つである。各単元のまとめは二次元コードから入ることができ、先ほどの後半のステップ「深める・伝える」のメッセージカードの記入や「まとめる・生かす」のワークシートをクロムブックで書き込み、保存できるようになっている。現在使用しているクロムブックを生かす上でも、適していると考ええる。なお、選定委員の推薦では2者の差は大きくはないが、より多く賛成があったので推薦する。

次に適しているものとして挙げた「Gakken」の推薦理由として、一つ目は、各項の内容が見開き2ページ（4ページ）で構成されており、「学習の進め方」を通して、児童が見通しをもって取り組める工夫がされているからである。さらに、毎単

元の冒頭のページに、「つなぐ」が記載されており、他教科との関連がすぐに分かるようになっている。

二つ目の理由は、随所に記載されている二次元コードを読み取り、吹き出しの問いから、疑問や考えがまとめられる構成になっているからである。単元末にある「ほけんのはこ」についても、学習を広げたり深めたりするのに役立つ資料が掲載されていることも選定理由の一つである。

以下質疑

(寺本委員)

現在使用している教科書においても、すでに二次元コードによる学習を行っていますか。

(日下北中小学校長)

主にまとめの部分で二次元コードによる学習を行っています。

(寺本委員)

「東京書籍」のように二次元コードを使用する前提で記載されているものは、実際に授業で活用されるのであれば良いですが、反って子どもの混乱を招く可能性があるのではないかと思います。その点については、どのように考えますか。

(日下北中小学校長)

一場面で二次元コードがあった方が、子どもにとっても参考になると思われまので、授業で併せて活用していくべきだと考えます。

(宮本委員)

丁寧に扱うべき内容が多い教科だと思いますが、若手の教師でも扱いやすいと思えるのはどの教科書ですか。

(日下北中小学校長)

一単位時間のめあてとまとめが明確になっていることや、子どもの実態に合わせて重点的に扱う資料を選択できるということ、デジタルコンテンツを活用しやすいという点では、どの教科書もそれぞれの特徴があり、若手の教師でも教えやすい教科書であると考えます。

(宮本委員)

子どもがどうしたらよいかと迷って先生に相談したときに、先生だけでなく、周りの人たちに相談してもいいということ、伝えられる方が良いのではないかと感

じました。

(日下北中小学校長)

誰でも相談できるということが、心身の健康のためにも必要なことだと思いますので、その点について多く示してあった方が良いと考えます。

(中島教育長)

それは「東京書籍」に多いのですか。それとも、他の教科書も同様の記載がありますか。

(日下北中小学校長)

どの教科書も記載はありますが、中でも「東京書籍」「Gakken」が多いです。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、選定委員会推薦の「東京書籍」「Gakken」の2者を協議の対象とします。2者についてご意見をお願いします。

(森田委員)

小学校から中学校の学習につながるような内容となっているのはどの教科書ですか。

(日下北中小学校長)

どの教科書も中学校へつながるような系統的な内容になっていますが、「東京書籍」は5・6年生の巻末で小学校での保健学習を総括して、中学校へ接続する動画の二次元コードが記載されています。

(中島教育長)

それは「Gakken」にはないのですか。

(日下北中小学校長)

「Gakken」は、5・6年生の教科書の巻末に、巻頭で記入した夢や目標を振り返り、中学校へつなげていくことができるワークシートが用意されています。

(寺本委員)

体の発達の項目における二次元コードは、「Gakken」よりも「東京書籍」の方が多く、内容も細かく親切であると感じます。また、たばこやSNSに関するイラストは「東京書籍」の方がストレートに表現されており、二次元コードを使わなくても要点を押さえていると思います。

(中島教育長)

他に意見はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、これまでの皆様の意見から、「東京書籍」の教科書を候補とすることとしてよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「東京書籍」の「新編 新しい保健」が候補となりました。なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《外国語（英語）》

選定委員会委員の戸村所沢小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている英語の教科書は、「開隆堂出版」である。はじめに、英語の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、導入から二次元コードを使って実写映像による登場人物とのやり取りや発表を参考に、児童が「自分で伝えたい」ことを考えて表現できるような工夫がされている。また、デジタル教科書には、児童の書き込みができるワークシートがあり、これに保存できることも特色となっている。

「開隆堂出版」は、各単元にある「Let' s watch and think」「Let' s Try」などにより、ペアやグループで伝え合う場面を積み重ねて思考を深めている。学習がスモールステップで展開していくので、「分かるようになったこと」や「できるようになったこと」が児童や教師にも把握しやすく、英語がそれほど得意でない教員にも指導しやすい教科書である。

「三省堂」は、1時間の授業の中で「Let' s watch」「Let' s Listen」「Let' s speak」「Let' s play」「Let' s talk」「Let' s read&write」と言った複数のLessonでUnitを構成しているのも特色である。デジタル教科書では、単語や会話を聞いたり、クイズ形式で文字と音の繋がりを学んだりすることができる。

「教育出版」は、導入の「Think」により、まずは自分の考えや目標などを書かせることで目的意識を持たせようとしている。また、教科書に書き込むことで授業を進めることが多いのも特徴である。別冊はないが、巻末にシールやビンゴ、アルファベットカードなど、授業で活用するカード類が付いている。

「光村図書出版」は、各Unitの始めに場面・状況が明示され、目標とその達成までの「何をしたらよいか」という活動が日本語で端的に記されている。多くの単元で、1時間ごとに、見て、聞いて、そして表現するというサイクルで活動が設定されており、児童が安心して学習できる。

「新興出版社啓林館」は、各ユニットが「step 1」「step 2」で、英語表現に慣れ親しみ、「step 3」で、その英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむという学習の流れになっている。各ユニットの最後には「let' s read and write」があり、読むこと、書くことについての確認ができるようになっている。小学校外国語における教科用図書は、最も適しているものに「開隆堂出版」の「Junior Sunshine」、その次に適しているものとして「東京書籍」の「NEW HORIZON Elementary English Course」の2者を推薦する。

「開隆堂出版」を選定した理由としては、次の3点である。

1点目は、授業におけるゴールの見通しを持たせ、「Let' s listen」や「Let' s play」で語彙や表現を繰り返し、「Let' s try」で学んだことを活用させ、まとめをする構成になっている点が、児童にとって学びやすいと考えられるからである。

2点目の理由は、学習がスモールステップで展開していくので、「分かるようになったこと」や「できるようになったこと」が児童や教師にも把握しやすく、英語

がそれほど得意でない教員にも指導しやすいという点である。

3点目の理由は、各学年に1冊ずつ、ついている「word book」である。単語が、あいさつ、天気、学校行事といったカテゴリーごとにまとめられ、児童にとって使いやすいものとなっている。

次に「東京書籍」を選定した理由については、次の3点である。

1点目は、レイアウトがシンプルであり、1時間の活動量が適切で、余裕を持って授業の構成が組み立てられる点である。

2点目は、「聞くこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「読むこと」「書くこと」の5領域のうち、聞く話す活動、コミュニケーション活動が重点的に扱われている点である。

3点目の理由は、2年間使用する別冊の「My Picture Dictionary」である。こちらも単語が、あいさつ、天気、学校行事といったカテゴリーごとにまとめられ、児童にとって使いやすいものとなっている。

終わりに、選定委員会における選定結果及び学校研究において、「開隆堂出版」に比べると、「東京書籍」の推薦の度合いは高くない。

以下質疑

(寺本委員)

一週間の英語の授業のうち、対話形式やAETの先生など、他の人と英語で話す機会はどれくらいありますか。

(戸村所沢小学校長)

時間として示すのは難しいですが、一斉に静読する時間よりも、個々に発声している時間の方が長いと考えます。ペアやグループなど色々な形態で表現できるようにしています。

(吉本委員)

小学校で学習する英語の分量として、「開隆堂出版」は多いように感じますが、多すぎて覚えることに専念せざるを得ないというような懸念はないですか。

(戸村所沢小学校長)

小学校で覚える英単語の量として、700語程度というのはどの教科書も差はありません。「開隆堂出版」は、5年生に繰り返し学習する内容となっており、英単語の数でも6年生の方が少なくなっています。見た目の分量の差はありますが、分

量が多い中でも一つ一つの活動が段階的になっている構成の工夫など、分量が多いからと言って一概に判断はできないと考えます。

(寺本委員)

「東京書籍」は、文字数が少なく、空欄を埋める作業などでいきなり何を書いたら良いのかと躓く子どもがいます。「開隆堂出版」は、文字数は多いですが、記載は分かりやすいと思います。子どもの実態はどうですか。

(戸村所沢小学校長)

「開隆堂出版」は、記入する際に手掛かりとなるヒントが多く記載されているのが特徴だと思います。実際の授業においては、教師の指導力にも拠りますが、全ての子どもが書ける、発音できるという内容になっていると考えます。

(寺本委員)

授業では発音の違いについて、細かく指導していますか。

(戸村所沢小学校長)

小学校では、細かく指導はしません。

(清水委員)

ヒアリングについては二次元コードを用いて学習するのですか。

(戸村所沢小学校長)

AETのネイティブの発音を聞いて学習しますが、それができない場合は二次元コードを活用して学習しています。

(清水委員)

ヒアリングに重点を置いているのはどの教科書ですか。

(戸村所沢小学校長)

どの教科書も二次元コードが充実していますので、ヒアリングに関しては補えるものと考えます。

(宮本委員)

教師が教えやすいと感じるのは、どの教科書ですか。

(戸村所沢小学校長)

「開隆堂出版」は、スモールステップで学習し、苦手と感じる子どもでも教えやすい教科書と言えます。「東京書籍」は、各活動の中でハードルが高いと感じられる部分があると思います。

(寺本委員)

ヒアリングに関して、動画などはゆっくり話している方が子どもにとっては分かりやすいと思いますが、あえて実際の速度で掲載している教科書はありますか。

(戸村所沢小学校長)

二次元コードで聞く場合は、再生速度を変えることができ、遅いものに慣れてから実際の速度で聞いてみるということを授業でも行っています。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、選定委員会推薦の「東京書籍」「開隆堂出版」の2者を協議の対象とします。2者についてご意見をお願いします。

(吉本委員)

レイアウトがシンプルであり、余裕を持って授業の構成が組み立てられるという説明があったこと、また、「開隆堂出版」は分量が多いという点から「東京書籍」を推薦します。

(森田委員)

シンプルで分かりやすいという点で「東京書籍」を推薦します。

(寺本委員)

展示会での小学校の先生の意見かと思いますが、毎時間扱いやすいという意見がありましたので、「開隆堂出版」を推薦します。

(中島教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「開隆堂出版」の「Junior Sunshine」、



「東京書籍」の「NEW HORIZON Elementary English Course」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。所沢市の子どもたちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「開隆堂出版」8点、「東京書籍」10点

(中島教育長)

それでは、投票の結果、「東京書籍」の「NEW HORIZON Elementary English Course」が候補となりました。

このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いただきます。

《道徳》

選定委員会委員の諸山口中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている道徳の教科書は、「Gakken」である。はじめに、道徳の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、二次元コードで見ることのできる工夫されたデジタルコンテンツが豊富に掲載されている。安心・安全、情報モラル、いじめの防止、生命尊重、自己肯定感を教材・コラムを有機的に組み合わせるユニットとして配当し、現代的課題に向き合えるようにしている。心に残った教材や、これからの生活に活かしたいことを書くことができる「学習の記録」が巻末に設けられており、定期的に学習を振り返ることができるようにしている。

「教育出版」は、登場人物の悩みや葛藤、心の揺れなどに対する児童の多様な意見を引き出すために教材文の終わり方が工夫されている。モラルスキルトレーニングや役割演技など、体験的な学習が教材の中に取り入れられている。児童が自分で

課題を発見し、考えることができる「てびき」を各学年に配置し、主体的な学習が可能となるように工夫されている。

「光村図書出版」は、学習のてびき「考えよう・話し合おう」には、考えたり話し合ったりするための発問が提示され、児童が多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。「考えるヒント」では、教材に応じた役割演技や考えの整理の仕方、活動アイデア、話し合いを活発にする言葉などを紹介し、考えを引き出し深められるよう工夫されている。

「日本文教出版」は、教材の冒頭に、あらすじと主な登場人物を提示することにより、児童が教材内容を理解できるように工夫されている。「道徳ノート」が別冊になっており、自分を見つめ、考えを整理し、自分の言葉で表現できるように工夫されている。教科書の巻末に設けられた保護者向けのメッセージや、道徳ノートの「おうちの人から」の欄により、家庭と連携して児童が学んだことを生かせるように工夫されている。

「光文書院」は、巻頭に「問いを見つけ、考え、まとめ・ふりかえり、ひろげ、つなげる」という学習の流れが紹介され、教材冒頭には問いかけの掲載や考えよう、まとめよう、広げよう、の3項目での構成により、児童の主題にかかわる問題意識を喚起し、主体的に考えられるよう工夫されている。巻末に、「学びの足あと」を設け、児童が学習記録を積み重ねて、自分の学びを見つめられるように工夫されている。

「Gakken」は、教材中の印象的な言葉などがタイトル下にキーフレーズとして掲載されており、児童が教材への関心を高めることができるように工夫されている。最重要テーマを「いのち」とし、「いのちのユニット」に異なる内容項目の教材を組み合わせることで、命に向き合うことができるよう工夫されている。巻末に「つなげよう ひろげよう」のページが設けられ、一年間の学びを振り返ることができるように工夫されている。

次に推薦する教科書とその選定理由を説明する。特別の教科道徳については、最も適しているものとして、「Gakken」、その次に適しているものとして「東京書籍」を推薦する。

「Gakken」を推薦する理由としては、次の3点が挙げられる。

1点目の理由は、教材への関心を高める投げかけとして、教材中の印象的な言葉

などをタイトル下にキーワードとして掲載する工夫をしていることである。

2点目の理由は、最重要テーマを「いのち」とし、「いのちのユニット」に異なる内容項目の教材を組み合わせることで、命に向き合うことができるようにしていることである。

3点目の理由は、巻末に「つなげよう ひろげよう」のページが設けられ、一年間の学びを振り返ることができるように工夫していることである。

以上の3点に加え、学校研究でも高い支持を得ており、所沢市の児童が必要感を持って学び、思考を広げ深めるために最もふさわしい特別の教科道德の教科用図書として「Gakken」を推薦する。なお、選定委員の推薦では2者の差は大きくはないが、より多く推薦に賛成があったため、推薦する。

次に適している「東京書籍」を推薦する理由としては、次の3点が挙げられる。

1点目の理由は、二次元コードで見られるデジタルコンテンツが豊富なことである。

2点目の理由は、安全・安心、いじめの防止、生命尊重、自己肯定感を教材・コラムを有機的に組み合わせるユニットとして配当し、現代的課題に向き合えるようにしていることである。

3点目の理由は、心に残った教材や、これからの生活に活かしたいことを書くことができる「学習の記録」が巻末に設けられており、定期的に学習を振り返ることができるようにされていることである。

以上の理由により、特別の教科道德の教科用図書として最も適している「Gakken」に次ぐ教科用図書として「東京書籍」を推薦する。

以下質疑

(清水委員)

道德観が欠けていると思われる人に対して、授業を受けて欲しいと考えるのはどの教科書ですか。

(諸山口中学校長)

どの教科書も、大人が読んだとしても学び直せる内容となっています。

(寺本委員)

自由な考え方、発言をするロールプレイが多いのは「日本文教出版」と思いますが、「Gakken」ではどのくらいの割合ですか。

(平川荒幡小学校長)

ロールプレイを多く取り上げているのは「教育出版」であり、続いて「日本文教出版」の順となっています。ただし、指導する際にどの程度取り上げるかは教師の判断に拠ります。また、ロールプレイ以外にも授業で体験的な取り組みができるようにどの教科書も工夫がされています。

(宮本委員)

それぞれの教科書で工夫されている点の違いは、どのようなことですか。

(諸山口中学校長)

「東京書籍」は、挿絵について紙芝居形式で記載されています。また、振り返りやまとめの部分で動画資料を用意したりなどしていますが、各者大きな差はありません。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(吉本委員)

「日本文教出版」を推薦します。

(中島教育長)

それでは、選定委員会より推薦のあった2者と、追加となった1者を含めた3者について、協議の対象とすることよろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、選定委員会推薦の「Gakken」「東京書籍」「日本文教出版」の3者を協議の対象とします。3者についてご意見をお願いします。

(寺本委員)

ロールプレイではなくとも、目立たない子どもが発言できる場があるかどうかという点で比較すると「日本文教出版」の方が良いと思います。「Gakken」の活動では、答える人が限定されてしまう内容となっていると感じました。また、模範解答が用意されていない、色々な考え方があって良いという内容になっているのは「日本文教出版」だと考えます。

(吉本委員)

「Gakken」では実際の個人のエピソードを使っていることで、より具体的に物語として捉えやすいという点が優れていると思います。

(森田委員)

著名人が出ている方が、子どもも興味を惹かれるのではないかと考えますので、「Gakken」を推薦します。

(清水委員)

何を子どもに学んでもらいたいかを考えると、自分の利益のためだけに生きてはいけないということだと思います。それを学ぶための実際のエピソードを多く載せているのは「Gakken」だと考えます。

(中島教育長)

ただいまの協議で、採択の候補となった3者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。所沢市の子どもたちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」10点、「日本文教出版」10点、「Gakken」16点

(中島教育長)

それでは、投票の結果、「Gakken」の「新版 みんなの道徳」が候補となりました

た。

(中島教育長)

以上で13種目すべての審議が終わりました。審議の結果、令和6年度使用小学校用教科用図書については、次の教科用図書を原案といたします。

国語	「光村図書出版」	「国語」
書写	「教育出版」	「小学 書写」
社会	「東京書籍」	「新しい社会」
地図	「帝国書院」	「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」
算数	「新興出版社啓林館」	「わくわく 算数」
理科	「新興出版社啓林館」	「わくわく 理科」
生活	「光村図書出版」	「せいかつ たんけんたい」
音楽	「教育出版」	「小学音楽 音楽のおくりもの」
図画工作	「開隆堂出版」	「図画工作」
家庭	「開隆堂出版」	「わたしたちの家庭科」
保健	「東京書籍」	「新編 新しい保健」
外国語(英語)	「東京書籍」	「NEW HORIZON Elementary English Course」
特別の教科 道徳	「Gakken」	「新版 みんなの道徳」

※令和6年度使用小学校用教科用図書について、中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり採択された。

※前述のとおり採択された令和6年度使用中小学校用教科用図書と併せて、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条に基づき、来年度に本年度のものの継続使用が決まっている中学校用教科用図書について、中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

(中島教育長)

教科用図書選定委員会委員、及び調査専門員の皆様、これまで詳細な調査・研究を行っていただきまして、大変ありがとうございました。

《傍聴者退室 午後6時17分》

## 10 報告事項

○所沢市教育委員会指定管理者選定に係る教育長の臨時代理について

(スポーツ振興課) 【非公開】

《 削除 》

○市内小中学校での事案について (学校教育課) 【非公開】

《 削除 》

## 11 その他

○今後の日程

- ・教育委員会会議8月定例会：8月18日(月)
- ・教育委員会会議9月定例会：9月22日(金)
- ・教育委員会会議10月定例会：10月27日(金)
- ・教育委員会会議11月定例会：11月17日(金)

12 閉会 午後7時00分